



業と自由意思

新井俊一師



これは私がハワイ滞在中にアルフレッド・ブルーム師と話したことを基に書いております。歎異抄の第13章の始めに、唯円が、親鸞聖人の教えを誤って理解して後続のものを惑わせていることを批判しています。すなわち「阿弥陀如来の本願があるから」といって、自分の悪行が往生に影響を与えないと思っているのは、本願にあまえているのだ」という観点です。それから唯円は、親鸞聖人の言葉を思い出します。親鸞聖人が唯円に「お前は私の言葉を信ずるか」と言ったので、「はい、信じます」と応えると、親鸞が「それでは人を千人殺しておいで、そうすればあなたの往生は確実にあります」と言います。唯円が「先生のお言葉ではございますが、私は人を1人でも殺すような力はありません」と応えると、親鸞は「それはあなたには、人を1人でも殺せるような業がないからです。私たちのすること、しないことは、それが善であろうと悪であろうと、宿業の仕業でないことはありません」と言います。

親鸞の言葉では、私たちには自分の行動を決定するような「自由意思」というものはない、というような感じですが。しかし親鸞の意図は、私たちが良いことをするのは私たちの心が良いからで、悪いことをするのは心が悪いからだ」という思いを唯円から払拭するためです。私たちが今あるのは、自分の過去の行い（宿業）のせいです。私たちは今おかれた状態の範囲内で、自分の意思によって自分の行動を決定できるのです。たとえば、何か好条件の仕事をオファーされた時でも、私たちは、自分の意思で受け入れることも断ることもできます。しかしそれは完全な「自由意思」というものではありません。決定をする段階で、自分の過去の経験、判断力、そして性格などの影響を強く受けるからです。だから「自由意思」と言っても実に狭い範囲で行使することになります。とはいえ、私たちには自分の行動を決め、将来の人生の方向を決める力を持っています。大切なことは、どのような決断をしても、その決断そのものが将来の状態に影響を与える業となり、私たちのそれから

8月の予定

- 5日 10時 原爆被爆者追悼法要
10時45分 日本語法要
- 12日 10時 家族法要
10時45分 日本語法要
- 19日 10時 家族法要
10時45分 日本語法要
- 26日 10時 家族法要
10時45分 日本語法要

- 2日 1時半 日系マナー法要
- 16日 1時半 日系マナー法要
- 28日 10時半 敬老ホーム法要

9月の予定

- 9日 ダーマ・スクール初日
- 23日 お彼岸法要
- 29日 女性セミナー
- 30日 恵信尼様/覚信尼様 顕彰法要
大下パティ―師 英語
谷口昌陽師 日本語

の人生にまわりつくということです。だから、私たちは業因・業果のくびきを離れることができません。

親鸞聖人の言葉の意図は、如来の本願の働きこそが、私たちを生死輪廻から解放するものであり、宿業の影響のもとにこの世で行う私たちの善行も悪行も、私たちの往生に影響を与えない、ということです。私たちは生きている限り、自分の業の影響から逃れることはできません。しかし、自分が善であろうと悪であろうと、本願を信じて念仏する者は、疑いなく、何の差別もなく、如来に救われるのです。この観点から言うと、自由意思なるものも、往生とは何の関係もないということになります。

先生の略歴：相愛大学名誉教授、文学博士（ハワイ大学）、浄土真宗本願寺派教師。



会長の挨拶

森久保ゆきお

夏休みということでもありますので短くします。。

2012年の盆踊りは大成功に終わりました、ご奉仕された方々にビッグ“サンキュー”と“ごくろうさま”を申します。盆踊りは私達の最大のコミュニティー・イベントで、会員および友人たちの大好きなイベントで、私達の最大の基金調達の尽力を皆寄せ合った催しです。この催しが出来るのも皆様の献身と重労働のお蔭です。もし貴

方がその一人ならありがとうございます。

特別にロン浜川に“マハロ”と言います。今年も委員長を務めました。過去数年に亘りお盆の委員長をしています。ロンとお盆委員会のメンバー、別院団体の代表者、会員、ボランティアによる計画が成功の大部分を担います。全員の名前をここに載せられませんがご自分ならわかるはずで、ありがとう！

第二に、私の7月のレターに反応された方々へ、それは、何故別院の会員ですかと問いかけました。数人から返事があり、いかに別院の会員を順調に維持するかを手伝うという申し入れがありました。反応とやる気に私は驚き、深く感謝しました。

何が出来るのかと聞かれたときに、その場で具体的なことが思い浮かばなかったのですが、（考えてみる必要がありました）でも今返答があります—1人の人に別院ともしっかりと気持ちが通じ合う事を助ける。新しい人が来られた時にその場限りの挨拶でなく、その次に見かけたらもっと知り合うようにして下さい、そして自分にチャレンジして他の別院メンバー、特によく知らない人、と知り合いになりましょう。最終的に私たちはお互いを助けないといけません、相互に助け合うことが受け入れられた、歓迎された気持ちになりそれがスタートです。

最後に、ダーマ・スクール家族に、夏休みを楽しんでください、でもお寺に戻る用意もして下さい。親として、8月はリラックス出来ますし、秋に法要に行くよりこのまま続けて休みたい気持ちになります。でも子供たちの心のあり方を作る時は限られている事を覚えておいてください。年と共に日曜のスケジュールが忙しくなり、毎週お寺に来れなくなります。でも子供は親を見ています、もし仏法が困難にぶつかった時に彼らを守ってくれることを願うなら、子供たちに仏法がいかに親にとって大切かを示して下さい。子供も貴方もそれがいいことです。 合掌



オライオン・ハウス食事奉仕

シアトル市のホームレス青年たちのために、個人またはグループにて計画をたて、食事を用意するオライオン・ハウス・センター・プロジェクトは毎月第3金曜日に行われます。別院の各団体や家族が過去3年に亘り奉仕しており感謝されております。8月—12月の予定を募っております。これは私たちにとっても価値あるプロジェクトです。皆さんの支援を願っている。6月の食事はナイナ富田・加藤がBWAのチェアーでした。感謝しています。詳細は寺本マイクか別院事務所まで知らせてください。

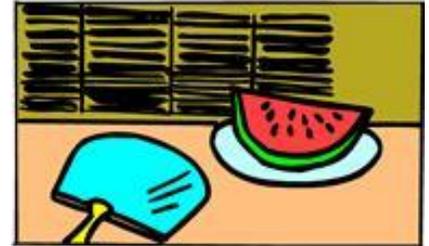
Save the day 9月29日 シアトル別院 9時半—3時半

女性セミナー

「キリスト教の国にて仏教徒として生きる」と題し女性セミナーがシアトル別院で開かれます。谷口昌陽先生による日本語セッションもあります。これは SBBWA の恵信尼様/覚信尼様 顕彰法要に基づいた企画です。シアトル別院での初めての女性セミナーです、ご家族、ご友人お誘い合わせてぜひご出席下さい。

シアトル別院主催 SBBWA 後援

パネル・ゲスト シャーロン・スー博士 (シアトル大学)
谷口昌陽師・博士 (南アラメダ仏教会)
パティール・大下師 (サクラメント仏教会)



婦人会便り

会長のメッセージ

馬場ジャネット



テリカム・ビレジ/アーゴシー・クルーズ:

来る8月13日(月)にピュジット湾を越えて、ブレイク・アイランドへ、鮭焼き、ネーテーブ・カルチュラル・ショーを楽しみに行きます。このクルーズにサインアップされた21名の会員、家族、そしてお友達に参加したい方は未だ時間の余裕がありますので、別院事務室の中野ジョーンに8月6日までにサインアップして下さい。もし別院からバス乗り場(8th Ave. S & S King St.)まで、車の便が必要な方は、グエン・フローレンスに交渉して下さい。

貴重な一対の夏季学校の子供達と別院会員・婦人会会員: 6月の最後の週に再び子供達夏季プログラムが持たれました。別院は一年生から8年生までの子供達で埋まり、お寺の内外でレッスンや活動が楽しまれました。多数の婦人会会員に活け花、書道、お弁当の調製、饅頭作り、踊り、裁縫、先生の助手、お寺の支持等のお手伝いを頂きました。生徒たちは文化遺産の業(わざ)・技術などを学びました。このプログラムが豊富に終えたのは積極的な会員方の活動参加に依るものです。この多様な価値ある会員方に深く感謝申し上げます。



ワーク・フォア・ライス: グループは良好な天気恵まれた事、そして資金を作りながら、楽しい一時を過ごした事を報告されました。24人の別院メンバーと14名の婦人会会員からなる別院チームは2,450ドルをACRS(Asian Counseling Referral Service)に寄附致しました。5000人程のアジア人を援助・支持するキング郡で2番目に大きいフード・バンク、ACRS、の為にグエン・フローレンス、加藤ジョイス、そして和田真知子達が別院チームを斡旋致しました。

米国仏教団婦人会連盟大会: 来る10月12-14日、サンノゼ、加州に於いて、第42回目の大会が「入海

の如く一味なり」(Diversity in Oneness, Oneness in Diversity) の題で催されます。特殊ご講師、種々のワークショップ、バンクエット、ツアー、そして沢山の活動等がこの大会を興味深いものとすることを確信

します。Coast District は遅い登録も受け付けています。尚、登録関係は加藤ジョイス、旅行関係は和田真知子に連絡して下さい。

8月行事予定

- 5日(日) 午前11時45分 婦人会理事会議
- 13日(月) アーゴシー・クルーズ
- 26日(日) 午前11時45分 婦人会キャビネット会議

通信書記(日) 新保エツ

英語の勉強会

勉強会は英語の本を読んでその感想などを語り合う会ですがこの度は婦人会の恵信尼様/覚信尼様 顕彰法要にちなみ催される女性セミナーを機に Ruth Tabrah 著「The Monk's Wife」タイトルの本を読みます。これは小説ですが恵信尼様の人生を綴った本です。カストロ先生が BCA のブックストアより本をオーダーされますので興味のある方は先生まで連絡して下さい。勉強会は8月11日 9時半より11時半まで。その後にブラウン・バッグ・ランチになります。

ポスター・コンテスト

浄土真宗通信教育コースでは新しいポスター制作にあたりデザイン・コンテストをかね募集中。9月15日の締め切りで PDF で送ること。一等賞には \$300 が贈られる。詳細は JSCC 事務所のリサ・マエダまで。2140 Durant Ave., Berkeley, CA 94704, Tel: 510-809-1441, Fax: 510-809-1459. www.JSCC.cbe-bca.org



7月6-8日、別院の開教使アシスタントの後藤アイリーンが浄土真宗センターでのパシフィック・セミナーに出席しました。当日は別院でも人気の先生方がご講師を務められました。左より 桑原師、原田師、マーク・ブラム博士、海野師、坂本師

KSP 2012 の思い出

